

BLDG NEWS

メンテナンス

VOL.236.

12月号

平成20年(2008)

愛知

発行・編集 社団法人愛知ビルメンテナンス協会広報イメージアップ委員会 / E-mail aichibm@lilac.ocn.ne.jp URL(アドレス) http://www.aichi-bma.jp
〒460-0003 名古屋市中区錦3-23-31 栄町ビル6階 TEL 052-972-1451 FAX 052-972-1452

・ 今月の視点 ・

ビルメンテナンス業における リスクアセスメントについて



(社)愛知ビルメンテナンス協会理事
リスクアセスメント指導員

堀口 弘

近年、労働災害の発生状況は長期的には減少傾向にありますが、残念ながら我々ビルメンテナンスをはじめとする第三次産業においては年々増加傾向にあります。

このような状況を踏まえ、厚生労働省では中央災害防止協会に委嘱し、今年度第三次産業の中のビルメンテナンス業を対象として「危険性又は有害性等の調査等の実施促進のための支援事業」を展開することとなりました。

その支援事業の一環として、全国47都道府県から各1名のリスクアセスメント指導員を養成することとなり、去る9月20日東京の安全衛生総合会館にてその研修を受けてまいりましたので、そのご報告をさせていただきます。

「リスクアセスメント」とは、既にご承知のことと思いますが、「危険性又は有害性等の調査等」であります。

実施に際しての具体的な手順としては

- ①経営トップによるリスクアセスメントの導入宣言と実施体制を確立する

- ②作業現場にある危険性又は有害性を特定する
- ③それによる労働災害の発生頻度・可能性・重篤度を推測しリスクを見積もる
- ④見積もったリスクの大きさに基づいて対策の優先度を決める
- ⑤優先度に沿ってリスクの除去・低減措置を検討し実施する
- ⑥その結果を記録・保存する
- ⑦実施したリスクアセスメントの基準等の見直しを行い、スパイラル的に改善を進める

実施時期としては

- ①新たに契約をし、実際の作業を開始する前
 - ②作業手順が変わったとき
 - ③新規採用者が入社(配属)されたとき
 - ④労働災害が発生したとき
- などが考えられます。

また、危険性・有害性に関する資料をできるだけ多く入手し、社内共通の情報として整理しておくことも大切なことです。

(社)愛知ビルメンテナンス協会では平成21年2月3日に実施されます労働安全大会において、中労災から講師を招いて実際の作業の場で発生しやすい事例を基にリスクアセスメントの手順と方法を学んでいただく予定にしています。

当日はできる限り多くの労務管理者、業務管理者の皆様の参加をお待ちしています。

愛知県全産業における平成20年度の労働災害による死亡者数は全国ワースト1という誠に不名誉な事態となっています。

このような状況を踏まえ、労使一丸となって労働災害の減少により一層のご努力をお願いする次第であります。

平成20年度イメージアップ事業



平成20年11月13日(木)14時から、中区久屋大通公園久屋広場において、社会貢献事業の一環として、名古屋市などが主催する「安心・安全で快適なまちづくりキャンペーン・なごや2008」に参加して清掃活動を実施しました。

朝夕めっきり寒くなりましたが、日中は晴天に恵まれ暖かい日となりました。

呼びかけに応じて下さった66社95名の皆さんは、当協会が担当することとなった栄交差点を中心とする広小路通りの東西地区において、清掃活動に汗を流していただきました。

様々な団体から、約1500人を超える方が参加して行われた行事に、愛知ビルメンテナンス協会も今回初めて参加をしました。

ピカタンをついた揃いのブルゾンと帽子に身をつつんでの行動は、一段と人目を引き、ビルメンテナンス業のイメージアップに大いに役立つことが出来ました。

今後これを機会に様々な社会貢献が展開されます。

会員各社の積極的な参加をご期待申し上げます。



ブルゾン100着を寄贈

今回初めてのお披露目となりましたブルゾン100着を、中日コプロ(株)(代表取締役社長 本多清治)様が、イメージアップ事業の趣旨に賛同されご寄贈下さいました。

新調されたブルゾンは、背中にクリーンクルーのマスコットマークのピカタンがあらってあります。

今後イメージアップ事業を始め様々な行事に活用して参ります。

大変ありがとうございました。



ごみゼロ社会推進あいち県民大会

(社)愛知ビルメンテナンス協会など44団体と市町村、一部事務組合など126会員でつくる、ごみゼロ社会推進あいち県民会議主催の県民大会が、10月31日(金)13時30分から名古屋市千種区の吹上ホールにおいて開催されました。

ごみゼロ推進優良店の表彰や、「地域から広げるごみ減量推進事業」実施団体の活動報告がありました。

休憩をはさんで女性ポップシンガーで3R推進マイスターの白井貴子さんが、「はじめよう!エコライフ〜地球と仲良くね〜」と題して講演されました。

大会ではレジ袋削減運動を通じ、環境に対する県民全体の意識改革が大切なことと、ごみゼロ社会の実現に向け取り組むことが再確認されました。



貯水槽清掃作業従事者研修

11月7日(金)愛知県産業貿易館において、貯水槽清掃作業従事者研修が行なわれました。

開講式で担当委員長の上道理幸にあいさつを頂いたあと、4人の講師により建築物衛生法を中心とした関係法令、水と健康、作業の安全と衛生、給水設備と機器、貯水槽の清掃、消毒、塗装方法などについて合計7時間の講義がありました。

給水設備の状況や、貯水槽の現場での実例などを織り交ぜながら、解り易い講義が行なわれました。

111人の受講生全員に修了証書が交付されました。



清掃作業従事者研修(中級者)

平成20年11月14日(金)愛知県産業貿易館において、中級者を対象とした清掃作業従事者研修が行なわれました。

この研修は、登録団体として厚生労働大臣の登録を受けた(社)全国ビルメンテナンス協会が開催し、(社)愛知ビルメンテナンス協会が協力して実施したものです。

建築物衛生法と清掃など、作業従事者の心構えや、繊維床のメンテナンス、玄関まわり、ロビー、トイレ、事務室など場所別の清掃方法などについて、5人の講師からテキストに基づきDVDなどを交え、熱心な講義を頂きました。

35名の受講生全員に修了証が交付され、予定どおり終了しました。



普通救命講習会



平成20年11月11日(火)伏見ライフプラザにおいて(社)愛知県警備業協会ビルメン支部主催の普通救命講習会が行なわれました。

第一線で活躍する警備員の皆さんは、救命行為が必要な場に居合わせることが想定されることから、ビルメン支部の行事として11月11日と12月17日の2回、定員24名で企画されたものです。

当日は、ビルメン支部堀口支部長のあいさつのあと、名古屋市応急手当研修センターの指導員の個別指導により、人口呼吸、心臓マッサージなどの心肺蘇生法や、AEDの取扱いなどについて、DVDによる学習と人形を使った体験により、訓練が行なわれました。

24名の参加者は、終始熱心に取り組まれ最初のうちはおどおどしていましたが、講習が終わる頃には、大きな声も出せるようになり、すっかり応急手当の技法を身につけられました。効果測定の結果、全員に修了証が交付されました。



「平成20年度年末年始安全衛生総点検運動」の実施について

このことについて愛知労働局長から各団体代表者あて労働災害防止活動を展開するよう通知がありました。

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、労働基準行政の推進にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当局においては労働災害防止に向け、本年度を初年度とする第11次労働災害防止推進計画(目標年度:平成24年度)を策定し、①死亡者数については、平成24年度において60人を大きく下回ること②死傷者数については、平成24年において平成19年と比して15%以上減少させること③労働者の健康確保対策を推進し、定期健康診断の有所見率の増加傾向に歯止めをかけ、減少させることの目標のもと積極的にそれぞれの労働災害防止対策を推進しているところです。

しかしながら、10月10日現在の災害発生状況は、死亡災害55件(前年同時期比4件増加)、休業災害は微減となっており、今後が憂慮される状況にあります。

つきましては、本年度も労働災害の多発が懸念される年末年始の繁忙期を捉え、別添「実施要綱」のとおり「年末年始安全衛生総点検運動」を展開することとしましたので、貴団体におかれましても本運動の趣旨をご理解のうえ、労働災害防止活動を展開されるようお願い申し上げます。

平成20年度 年末年始安全衛生総点検運動実施要綱

平成20年10月 愛知労働局

1 趣旨:平成20年の愛知県内における労働災害は、10月1日現在、死亡災害は52名(前年同時期比2名増加)、休業災害は微減となっている。本年より始まった第11次労働災害防止推進計画の推進にあたり、職場における災害発生件数の減少傾向を定着化させるため、労働災害の多発が懸念される年末年始の繁忙期に、「家族待つ 年末年始 無災害」をスローガンとして、職場の危険有害要因を的確に洗い出し、これを除去することに積極的に取り組むことを経営トップが決意し、関係者一人一人が活発な安全衛生活動を実施することにより、危険のない職場を実現することを目指して「平成20年度 年末年始安全衛生総点検運動」を展開することとする。

2 実施期間:平成20年12月1日(月)から平成21年1月20日(火)まで

3 主唱者:愛知労働局・管下各労働基準監督署

4 協賛者:(社)愛知労働基準協会、各地区労働基準協会、建設業陸上貨物運送事業、港湾貨物運送事業、林業・木材製造業、鉱業の各労働災害防止協会愛知県(東海総、名古屋)支部、中央労働災害防止協会中部安全衛生サービスセンター、(社)建設荷役車両安全技術協会愛知県支部、(社)日本クレーン協会東海支部、(社)日本ボイラ協会愛知支部、(財)安全衛生技術試験協会中部安全衛生技術センター、(独)労働者健康福祉機構愛知産業保健推進センター、(社)日本労働安全衛生コンサルタント会愛知支部

5 実施者:各事業場

6 主唱者及び協賛者の実施事項

- (1) 局署幹部と労働災害防止団体幹部との合同パトロール
- (2) 職場の安全衛生点検表の配布
- (3) 年末年始安全衛生総点検運動のポスターの作成・掲示、ホームページ掲載等による広報
- (4) 年末に交通労働災害の多発が懸念される業種に対する交通労働災害防止の指導・要請
- (5) 事業者が行う労働災害防止活動に対する指導及び援助

7 事業者の実施事項

- (1) 職場全体の安全衛生総点検の実施
- (2) 経営トップによる決意表明及び職場パトロール等の実施
- (3) 下請事業場に対する安全衛生活動の活性化のための指導及び援助
- (4) 年間安全衛生管理計画の作成
- (5) 安全衛生標語の募集及び発表

各種委員会

第23回愛知県建築物環境衛生管理研究集会第2回幹事会

開催日時 平成20年11月10日(月)10時～

開催場所 愛知県三の丸庁舎

出席者 上道理事、水藤理事、事務局長

研究発表、特別講演など研究集会の運営について審議した

第3回厚生委員会

開催日時 平成20年11月12日(水)16時～

開催場所 協会事務局会議室

冬期研修会の運営とB・Mソフトボール大会の運営について協議した

第6回広報・イメージアップ委員会

開催日時 平成20年11月21日(金)10時～

開催場所 協会事務局会議室

12月号の構成について検討を行った

会員の動き

11月1日現在会員数 普通会員 133社 賛助会員 20社

